

磐田市民文化会館跡地及び今之浦 市有地等利活用特別委員会報告書

令和3年3月23日

磐田市議会

磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用特別委員会

1 磐田市民文化会館跡地等利活用の検討に係る経緯

磐田市民文化会館は昭和 54 年に、文化振興センターは昭和 52 年に竣工し、文化公演や式典、展示など様々な市民活動の拠点としての役割を担ってきた。しかし、長い年月が経過し、施設の空調や給排水設備などの老朽化が進み、各設備の部品の調達等も困難であることに加え、バリアフリー化への対応や耐震性能に課題を抱えている状況にあった。

市当局では、これらの課題の解決のため、文化施設等の将来の方向性を検討する「磐田市文化施設等のあり方に関する検討委員会」や、新しい文化会館について専門的な見地や利用者などの視点から検討を行う「磐田市文化会館建設検討委員会」を開催し、両委員会での約 3 年間の議論と検討を重ねた結果を踏まえ、磐田市文化会館の移転及び新設を決定した。

この決定に伴い、これまで主に市民文化会館の臨時駐車場等として活用していた今之浦市有地は、新たな活用の検討が可能となった。一方、今ノ浦川を挟んで西側に位置する今之浦公園は、以前より公園施設の老朽化や樹木の繁茂により見通しが悪く、視認性に乏しいことから、防犯上の問題も指摘されていたこともあり課題を抱えていた。

これらの状況を踏まえ、市民文化会館及び文化振興センター跡地だけでまちの賑わいを考えるのではなく、今之浦市有地及び今之浦公園を合わせて一体的に整備することで、周辺商業地などとの回遊性も考慮し、まちの賑わいづくりを図っていく機会と捉え、具体的な整備について検討することに至ったものである。

2 磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用特別委員会

一連の経緯を踏まえ、市議会では、市の中心市街地であり、長年、シンボリック的存在であった磐田市民文化会館の跡地及び今之浦市有地等の利活用をまちの賑わいづくりの機会ととらえ、議会として責任ある協議、調査・研究、提言を行うための特別委員会を平成 30 年 7 月 4 日に設置し、利活用に向けての議論を進めてきた。

(1) 特別委員会の協議

①平成 30 年 7 月 4 日(水)

正副委員長の互選について

②平成 30 年 7 月 23 日(月)

執行部報告（パブリックコメントの結果について）、特別委員会の今後の進め方について

③平成 30 年 7 月 31 日(火)

執行部説明に対する確認・質疑事項及び意見について

④平成 30 年 8 月 7 日(火)

執行部への質疑事項等について（意見整理）、提言作成に関する意見等について

⑤平成 30 年 8 月 17 日(金)

質疑事項の回答について、第 1 次提言書案について

⑥平成 30 年 8 月 28 日(火)

第 1 次提言書案について

⑦平成 30 年 10 月 11 日(木)

磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用基本方針（今之浦市有地・今之浦公園編）について

⑧令和元年 5 月 10 日(金)

（仮称）磐田産業振興会館要望取り下げについて、今之浦市有地等利活用に関する意見交換会の報告について

⑨令和元年 5 月 27 日(月)

正副委員長の互選について

⑩令和元年 12 月 16 日(月)

今之浦公園等整備の進捗状況について

⑪令和 2 年 2 月 17 日(月)

今之浦公園周辺整備基本プランについて

⑫令和 2 年 5 月 13 日(水)

磐田市民文化会館及び文化振興センター跡地の利活用に関する現状報告について

⑬令和 2 年 5 月 25 日(月)

正副委員長の互選について、特別委員会の今後の進め方について

⑭令和 2 年 8 月 25 日(火)

研修会を実施

⑮令和3年1月14日(木)

第3回磐田市民文化会館跡地利活用懇話会の報告について、磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用特別委員会報告書案について

(2) 磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用基本方針(案)に対する第1次提言について

①平成30年8月30日(木)

議長から市長へ提言を提出した。要旨は以下の通りである。

【提言要旨】

1 都市計画マスタープランの記載に基づき、今之浦市有地と今之浦公園については、市民の憩いの場となるよう広く市民ニーズを反映した計画(案)を作成すること。

2 時代に応じて変化するニーズを捉えるため、市民文化会館及び文化振興センターの跡地利活用に関する計画策定には十分な期間を設け、専門家や市民の意見を取り入れる体制づくりを行い、同時に市民の理解を得る取り組みを継続的に行うこと。

3 都市計画マスタープランに謳われている当該地区のまちづくり方針を具現化するため、市民文化会館及び文化振興センターの跡地に関する基本方針決定に先立ち、まちの賑わい、回遊性を見据えた全体計画(案)を策定し、市民及び議会に示すこと。

4 長期にわたる事業となることも考慮し、公共施設等総合管理計画や他事業の進捗状況、財政見通し等を示した上、将来世代の重い負担とならぬよう留意すること。

5 議会に対して、継続的な情報共有及び意見交換の場を設定すること。

(3) 研修会について

①令和2年8月25日(火)

主題：「将来を見据えた魅力的な公共施設(建築)について」

講師：川口宗敏氏(静岡文化芸術大学名誉教授)

内容：今後の公共施設(ハコモノ施設+インフラ施設)の在り方に

ついて、磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用基本方針案（平成 30 年 3 月）に対するパブリックコメント結果等に対する私見、磐田市民文化会館跡地等に対する私見（今後の展開）について

【意見・感想等】

- ・市民文化会館跡地等に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響による社会変化に対応できる施設にしていく必要があるという点について同感できる点が多かった。
- ・人口、財源等縮小期における公共施設の（再）整備について、留意すべき点や、経済状況が悪化する状況下での公民連携の難しさ等を専門的立場でお話され、気付くことも多く、とても参考となった。
- ・平常時と非常時の二面を備えた計画と使い分けが重要であると感じた。
- ・講師から回遊型緑道の提案があったが、心身がリフレッシュするような散歩道ができると良いと考える。
- ・特別委員会委員が同じテーマで学び、知識レベルを統一させてから議論・対話していくことはとても大切だと思う。

3 今之浦市有地・今之浦公園の整備

議会からの一次提言を受けて、市当局では、磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用基本方針【今之浦市有地・今之浦公園編】を策定した。令和元年度において、基本構想・実施設計に着手し、令和 3 年 3 月末の暫定利用開始に向け、令和 2 年度から整備工事が進められている。

4 磐田市民文化会館及び文化振興センター跡地について

令和 2 年 11 月、磐田市消防庁舎適正配置方針（案）に、磐田市消防署の候補地として、磐田市民文化会館跡地の表記があったことについては、特別委員会として、跡地利用の担当部署に状況確認を行い、場所を特定したものではないとの確認をした。

5 まとめ

新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な中、磐田市民文化会館等の解体工事延期など、市の各種事業への影響も心配されるが、市議会（特別委員会）は、これまで通り、磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等の利活用について、まちの賑わいづくり・回遊性等の拠点と捉え、今後も協議、調査・研究、提言を行っていく必要があると考える。

令和3年3月23日

磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用特別委員会

委員長 加藤 文重

副委員長 小栗 宏之

委員 山田 安邦

高梨 俊弘

鈴木 喜文

高田 正人

虫生 時彦

芥川 栄人

芦川 和美

永田 隆幸

小池 和広